



学校便り
No. 11

※番号は昨年度から継続

夢・挑戦

令和2年4月13日
水俣市立水俣第二中学校
校長 高橋 裕二

学校は学ぶ場です。勉強や読書を!!

今年度、全校生徒198名、教職員24名で、無事にスタートできました。生徒の皆さんは、学校教育目標を意識して学校生活を送ってほしいと思います。始業式や入学式で生徒に話したことを、以下まとめました。

生徒一人一人には、夢や目標、やりたいことがあると思いますが、勉強や部活動、係活動、掃除など、今自分ができることや、今自分に与えられた仕事、役割を地道に取り組むことから始めてください。一番頑張してほしいことは勉強です。学校は学ぶ場で、授業時間が一番長いからです。

「知らなかった、分らなかった、できなかった」ことが、「知る、分かる、できる」ようになると、勉強が楽しく、面白くなると思います。たとえ自分の思い通りの結果にならなくても、すぐに諦めず、ねばり強く努力してください。失敗から学んだことが、必ず将来に生かされるはず

です。【新入生代表誓いのことば】



次は、読書です。夢を実現した人の多くは、たくさん読書をして、知識や教養を身に付け、自分の生き方や自分自身を見つめ直す時間を作っています。テレビにもよく出演されている明治大学 齋藤 孝 教授は著書の中で、「読書は、自分で自分の人生を深めていく最高のものです。ネット、SNS全盛の現代だからこそ、あらためて本と向き合うことが重要です。本を読むことで、知識を深め、思考を深め、人格を深めることができる」と述べておられます。人間関係も言葉が重要になります。

よい人間関係をつくるためには、よい言葉をたくさん使い、よい言葉をたくさん知らなければなりません。そのために

読書は欠かせません。1か月に3冊以上は、図書室や市立図書館などを利用し、本を読

んでほしいと思います。



【在校生代表歓迎のことば】

今年度重点「あいさつ」と「自分で登校」

【あいさつ】 あいさつの言葉は色々あります。

○出会いのあいさつ・・・「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」「はじめまして」

○別れのあいさつ・・・「さようなら」「お先します」

○感謝のあいさつ・・・「ありがとうございます」

○謝罪のあいさつ・・・「ごめんなさい」「すみませんでした」「申し訳ありませんでした」

◎素晴らしいあいさつ・・・立ち止まって、自分から先に、笑顔で、大きな声で

なぜ、声をだすのか。なぜ、お辞儀をするのか。なぜ、笑顔のあいさつが大切なのか。自分で考えてみてください。お店や会社は、店員さんや社員さんのあいさつの仕方を見れば、店内社内の様子や業績が分かると言われます。あいさつが身に付いてない人は、周りの人から信頼されなくなり、より良い人間関係を築くことはできません。さわやかな気持ちの良いあいさつを心がけましょう。

【自分で登校（徒歩、自転車で登校）】

昨年、車で送ってもらう生徒を時々見かけました。ケガや体調不良、雷などを除いて、雨の日でも傘や雨カップで登校してください。朝から歩くことや自転車に乗ることは、軽い運動となり体温が上がり、体ばかりか脳にも良い影響を与えます。1時間目の授業から集中力が高まり、学力向上にもつながります。自分で登校して下さい。

3月後半から毎週、実家の石坂川にタケノコ掘りに行っています。これまでは1月に亡くなった父が掘ってくれたタケノコをもらってばかりでした。タケノコを掘るくわが見つからず困っていたら、叔母が「去年も山の木にかけてあったよ」と教えてくれ、竹山の入り口の木にかけてあるのを見つけ感動しました。また、ワラビ取りに来られた人に、「包丁を持って行き、タケノコの根この硬いところは山に捨てればよい」と教えてもらいました。さらに、実家でタケノコの皮をむいていたら、「皮に包丁で縦に入れると、皮がむきやすくなる」と近所の方が教えていただきました。4月は、誰もが新しい環境で慣れないことが多いと思います。困っている人には教え、分からないときは人に聞くことが大切になります。